

2024年度

実施効果報告レポート

【事業者名】
株式会社COMPASS

【サービス名】
AI型教材Qubena（キュビナ）

【支援項目】
授業、授業準備、成績処理

学習eポータル + AI型教材



2025年1月

キュビナについて

Webアプリケーション (専用URL発行)

※アプリインストール、教科ごとの切り替え不要

シングルサインオン

SSOに対応

(Google/Microsoftアカウント)

※ID・パスワードの入力不要で、簡単ログイン!

小学校1年生～中学3年生の

5教科に対応

(英語・算数数学・国語・理科・社会)

圧倒的な
掲載問題数!

搭載問題数

95,100問

(小学校・中学校)

※すべての搭載問題数 197,000問
(教科書準拠の漢字・語彙・英単語
・基本例文問題・単元確認問題をす
べて含む)

教科書対応

自治体指定の各教科書と同様の並び・
内容(国語では作品・文章)に対応



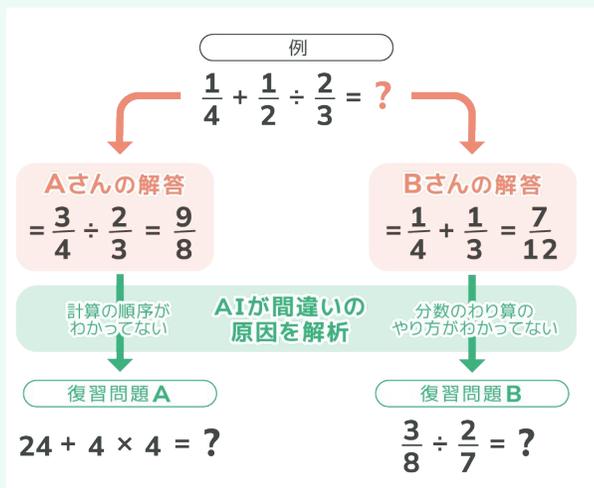
- ・ 学習ツール「キュビナ」のAI型教材の特長：AIが一人ひとりに合わせて最適な問題を出題
- ・ 学習管理ツール「キュビナマネージャー」：学習データできめ細やかな学習指導が可能

キュビナ

アダプティブラーニング

一人ひとりの理解度・習熟度に合わせて
最適な問題を出題

- ・ AIが間違いの原因を解析
- ・ 数万問から個別最適化された問題を出題

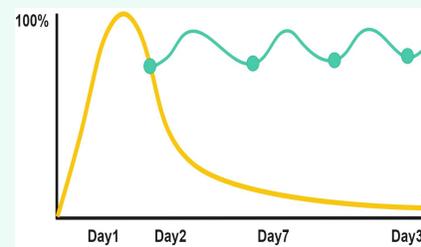


分散学習の個別最適化

AIが“忘れかけた頃”を狙って、
適切な復習問題を出題

- ・ 効率よく復習できる問題を出題
- ・ 忘却タイミングを考慮して出題

苦手な単元、取り組んだ時期、
復習タイミングも人それぞれのため、
AIが復習の個別最適化をします



キュビナマネージャー

一人ひとりの学習状況が分かる

リアルタイムで学習状況を確認
できます。

問題の解答内容、解答時間、正答率な
どの学習データを収集。

授業中の問題演習やテスト、家庭学習
など生徒の学習を把握することで、適
切な学習指導や成績評価ができます。

3年1組			
リアルタイム	期間	単元	ワークブック
生徒名	学習中のステージ	正答率	回答数
鈴木 雄大	理科 ワークブック 6/12 水の性質	67%	42問
学習時間: 09分 28秒		目標時間: 15分	
確認パート	指定パート	復習パート	
5	01分12秒	26 / 30 (+5)	
手が止まっていたよ			

導入実績

- 4自治体 19校 3,069名の児童生徒が利用

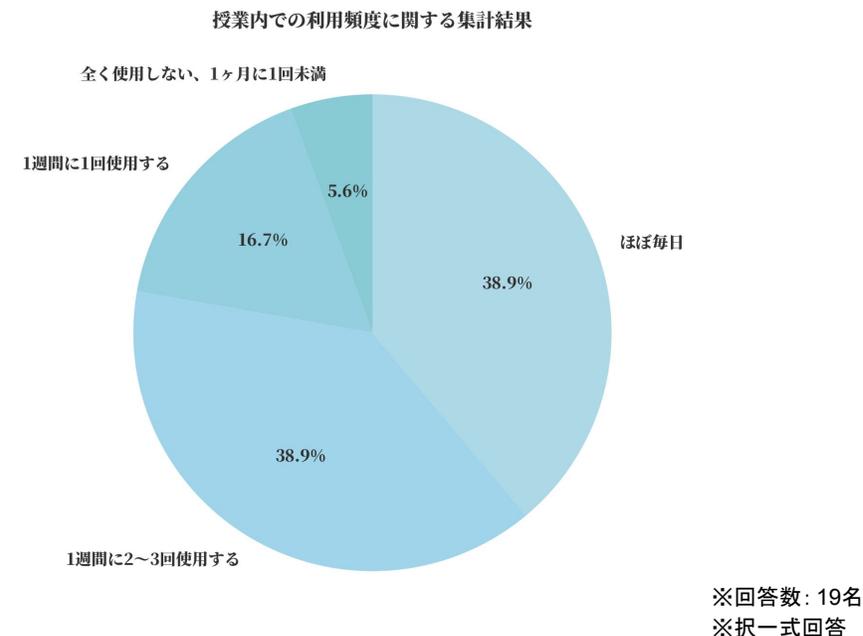
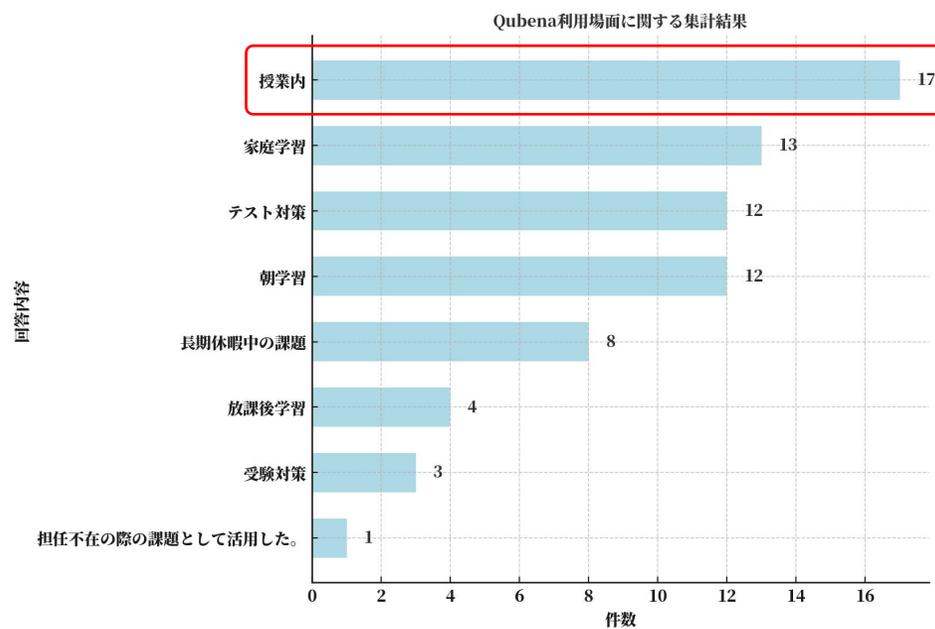
学校等設置者名	学校数	児童生徒数
大阪狭山市	3	1,590
船橋市	1	572
徳之島町	13	887
肝付町	2	20
合計	19	3,069

事例の紹介

- 主に授業内でキュビナを活用頂くことが多く、また利用頻度も高かった

本効果報告レポート作成にあたり、今回ご導入頂いた教育委員会・学校担当者へアンケートをお送りしたところ、19名からご回答頂いた。

アンケート結果によるとキュビナは授業内や朝学習、家庭学習など幅広い場面で活用されており、特に授業内での利用頻度が高い傾向が見られた。そこで授業内でどう使用していたかの事例のヒアリングを行った。



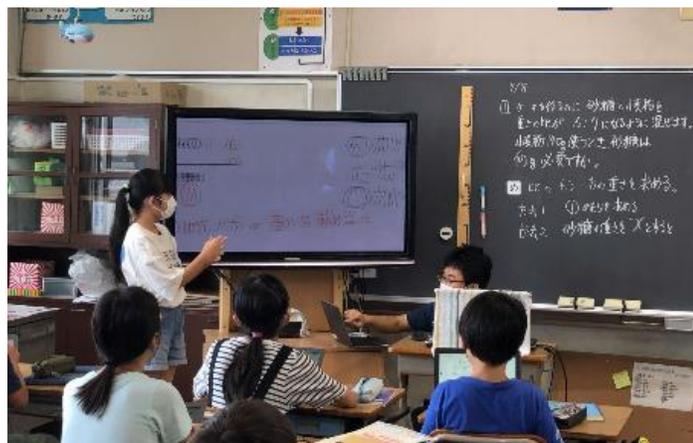
事例の紹介

● 授業全体でICTを活用し、教え合いを活性化

【課題/ねらい】 児童自身での考察や発表の時間を設けると、十分な定着演習の時間が確保できない。
⇒紙プリントをキュビナに置き換えることで、短時間でも効率よく定着演習が行えるように。

自分の考えをもたせてからグループで共有させることで、一人一人が自分の考えを伝え合い、筋道を立てて説明をできるようにした。問題の情報整理、考察の時間にはGoogleClassroomを活用。発表時間には児童の考察をモニターに映し発表をスムーズにする工夫を行った。授業の最後にキュビナのワークブック機能を使用し問題演習することで、効率よく定着した。

ICT学習支援ツールによる発表タイム



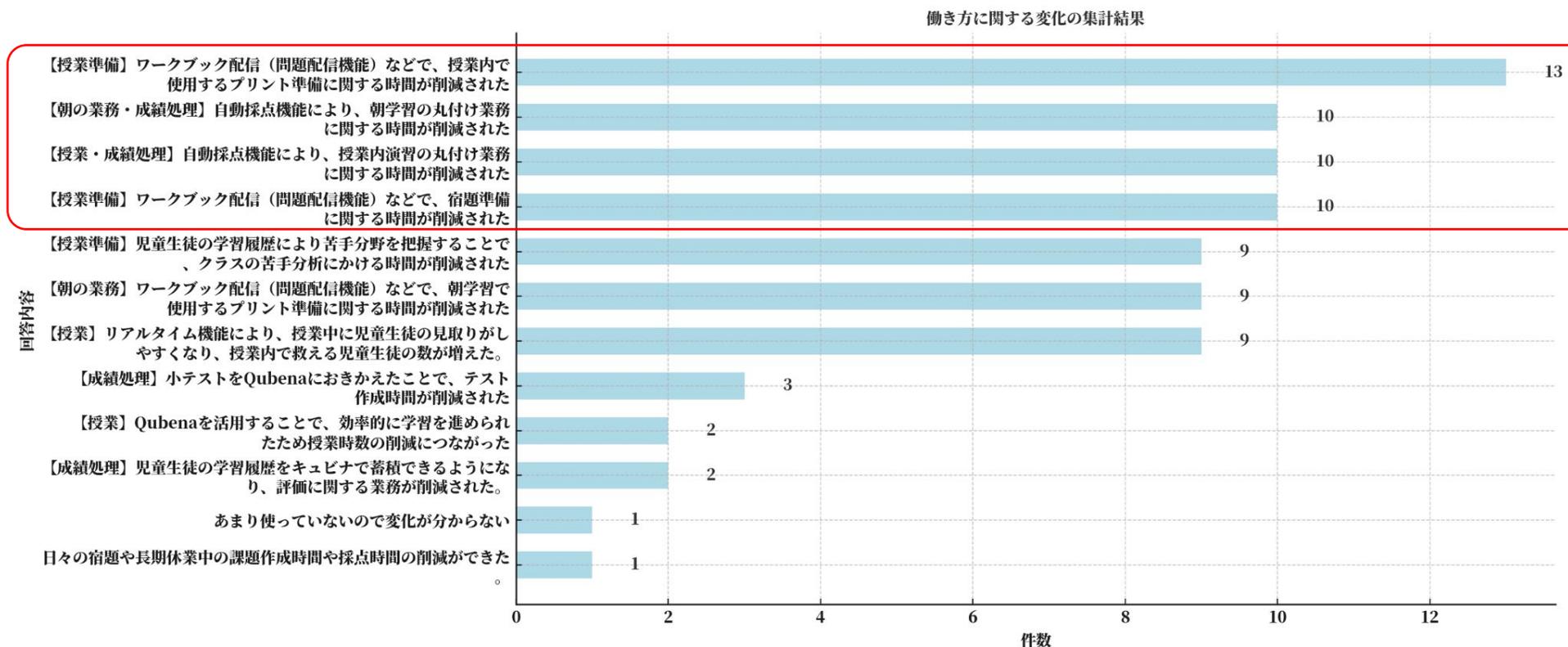
授業中にワークブックを解く様子



導入による成果① 「働き方に関する点での業務変化」

- キュビナ導入により、多くの場面で業務効率化が促進された

キュビナを活用することで、授業準備や宿題準備、採点業務の効率化が実現し、特にワークブック配信機能や自動採点機能が業務時間削減に大きく寄与している。

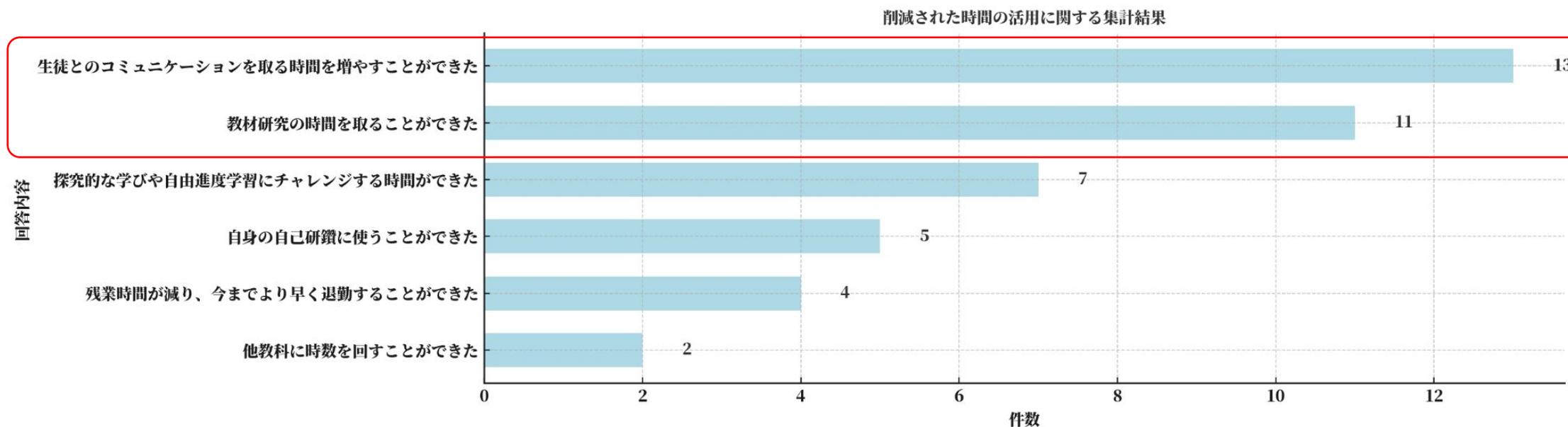


※回答数：19名
※複数選択可

導入による成果② 「削減された時間の活用方法」

- 削減された時間で、特に生徒とのコミュニケーションや教材研究により時間を割くことができた

キュビナの活用により削減された時間は、多様に活用されていることが分かった。特に生徒とのコミュニケーション時間の増加や教材研究、自身の研鑽に時間を割く教員が多く、教育の質の向上に寄与している。

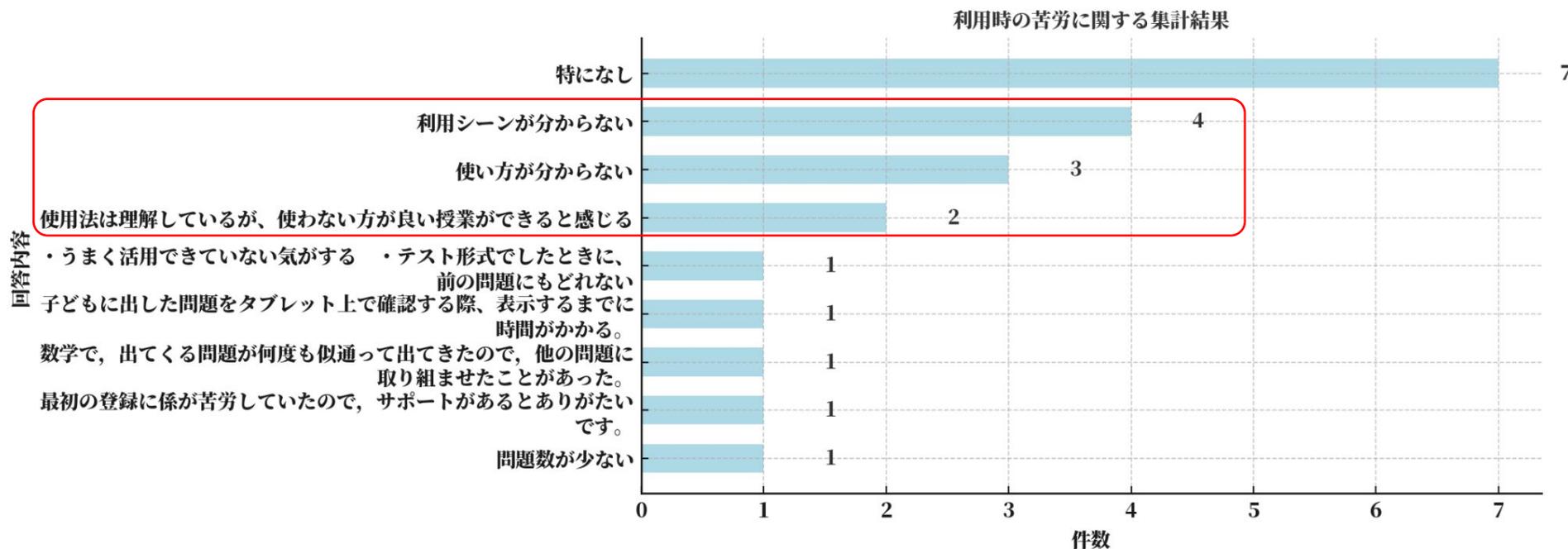


※回答数: 19名
 ※複数選択可

課題と改善策

● 課題：導入時における「具体的な活用方法・場面」の説明不足

キュビナ利用時の課題として最も多かった回答は「特になし」だが、次点としてそもそも利用シーンや使用方法が分からないという声が挙がっている。キュビナの導入研修会は全ての新規導入頂いた学校を対象に行っているものの、効果的な利用場面の提示や操作方法の十分な説明ができていなかった可能性や、研修に参加できなかった方への校内共有ができていなかった可能性が考えられる。



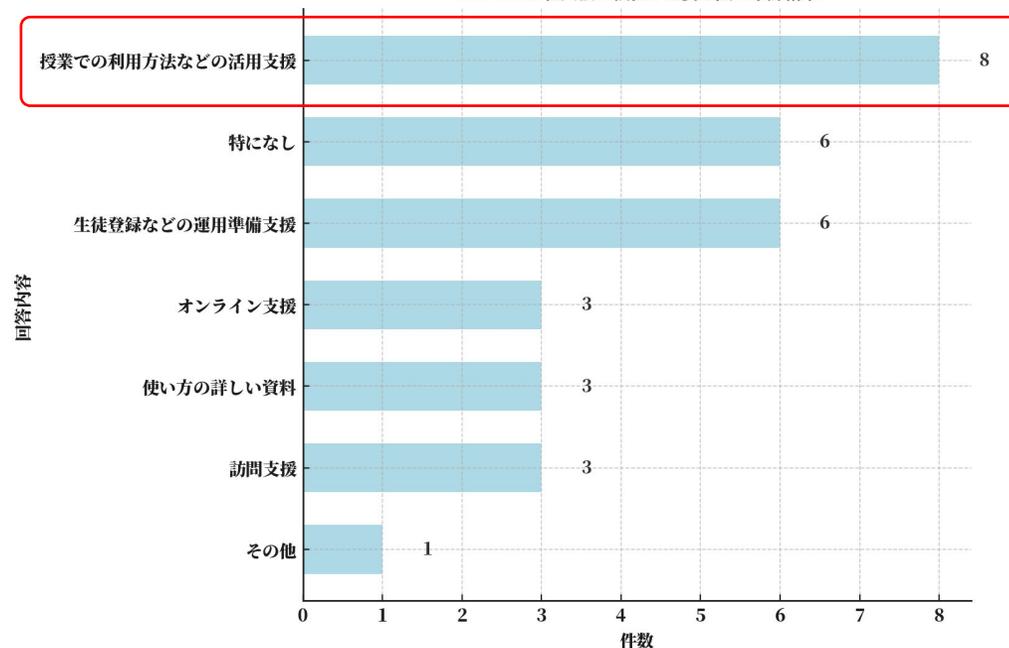
※回答数：19名
※複数選択可
※自由記述あり

課題と改善策

● 改善策：弊社活用支援の発信・共有方法の強化

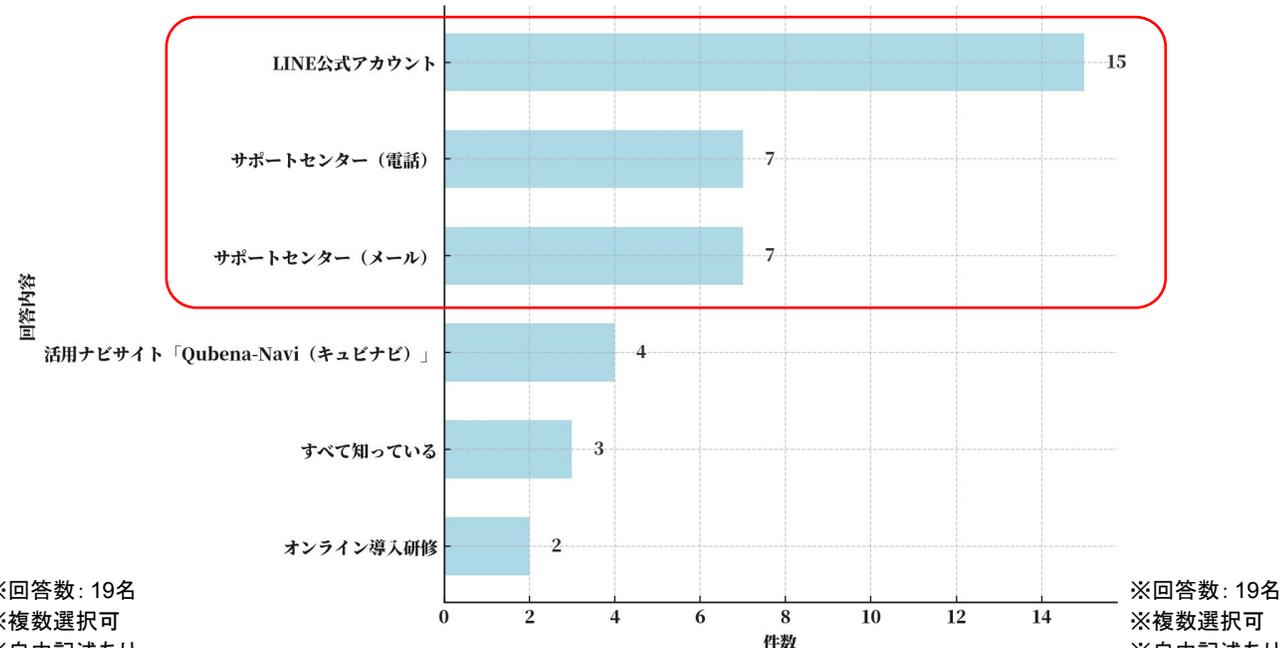
左側のグラフからは前述の通り、弊社の支援強化が必要だと思われるものに「授業での利用方法などの活用支援」が最も多い結果となった。ただ右側のグラフからは、用意しているがそもそも知られていない支援方法も存在していることが分かっており、研修会やDMでの告知以外に、既存の活用支援コンテンツをどう先生方へお届けできるかを今一度検討する必要がある。

COMPASS社支援の強化が必要な点の集計結果



※回答数：19名
※複数選択可
※自由記述あり

知らなかった支援に関する集計結果



※回答数：19名
※複数選択可
※自由記述あり

教職員からのコメント



個々に応じた問題を出してくれ、解答してすぐに正答がわかる等、**子どもにとって意欲を継続することができました**。そのため教師側が隙間時間用にいろんなプリントを作成したり、採点したりする必要がなく、**時間を有効に使えるようになりました**。

学習履歴による苦手分析のおかげで、**児童生徒の苦手分野の把握に費やす時間が短縮されました**。この新たに生まれた時間を使って、**自身の自己研鑽や教材研究の時間を取ることができました**。



会社概要

社名	株式会社COMPASS
所在地	東京都文京区小石川2丁目3-23 3F
代表者	佐藤 潤
事業内容	AI型教材Qubena(キュビナ)の開発・販売
設立日	2012年12月25日
従業員数	109名 ※2023年12月時点

株式会社COMPASSは、株式会社小学館のグループ会社です

COMPASSの想い

個別最適な学びを届ける

テクノロジーは日々進化し、これから数十年で私たちの生活も大きく変化してくるでしょう。そのために、私たちは子供たちに新しい時代に備えるための新しい教育環境を用意しなくてはなりません。

しかしまた、そのテクノロジーの進化により、子供たち一人ひとりの成長・理解に合わせた教育を届けることが可能になりました。先生が抱く「一人ひとりが大事で全員に理想的な学びを届けたい。」という想いを実現する教材、それがQubenaです。

私たちはQubenaを通じて、誰一人取り残すことのない個別最適な学びの提供と、様々な教育課題の解決に取り組んでまいります。

